

第 1 回中間報告書（2024 年 9 月- 12 月）

国際ロータリー第 2710 地区

2024-2025 年グローバル補助金奨学生

礒部 由美

1. 基本情報

- 派遣クラブ・カウンセラー：広島安佐 RC・岡本忠文様
- 受入クラブ・カウンセラー：Tower Hamlets RC, Ms. Helen Johnson
- 教育機関：London School of Economics and Political Science
- 専攻分野：MSc Global Health Policy

2. 学業面での成果

- 全体：

2024 年 9 月 23 日から約 1 週間のオリエンテーションを経て、正式に授業が始まりました。私が所属する MSc Global Health Policy では前期・後期あわせて 7 科目を履修することになっていますが、自身の関心を踏まえ、また後期に修士論文のための時間を確保するため、前期は 5 科目を選択しました。これまで仕事でヘルスケア分野のプロジェクトに複数携わってきましたが、実務で直感的に捉えていた事象がアカデミックな理論や概念と結びついていく感覚があり、どの授業も非常に興味深く感じています。さらに、国籍、年齢、職務経験も異なる様々なバックグラウンドのクラスメートと授業内外で日々ディスカッションをすることも多く、その度に多様な視点に触れることができ、毎日刺激を受けています。

- 必修科目：

- Introduction to Health Policy and Politics：保健医療政策の目標や政治的要因、制度、エビデンスの影響を分析し、優先順位設定の手法を学ぶ
- Global Health Policy: Institutions, Actors and Politics：グローバルヘルスにおける多様なアクターの影響力や国際機

関の制度的課題を検討し、政策形成のダイナミクスを検討する

■ 選択科目

- **Financing Health Care**：医療財政の基本機能である財源確保、資金プーリング、サービス購入の仕組みを学び、持続可能な制度設計について考察する
- **Global Access to Medicines**：医薬品の開発・規制・価格設定・知的財産権を多角的に分析し、アクセス向上の課題と政策的対応を検討する
- **Evidence Appraisal for Health Policy Analysis**：量的・質的エビデンスの生成と活用方法を学び、保健政策の分析や政策提言の実践的手法を習得する

3. 学業面以外での活動

- 2024 年 9 月：国際開発とヘルスケアをテーマにした 2 泊 3 日のワークショップに参加しました。アカデミアや人道支援の現場で活躍する学外の専門家による講義は、新たな視点を得る貴重な機会となり、大変刺激を受けました。
- 2024 年 10～12 月：学内には **Global Health Initiative** という研究プラットフォームがあり、そのプラットフォームが主催するディスカッションやワークショップに積極的に参加しています。最新の研究動向に触れるとともに、グローバルヘルスに関心を持つ多様な人々と交流を深め、ネットワークを広げています。
- 2024 年 10～12 月：卒業生で現在国際機関にて勤務している人とのセッションや職務経験が 5 年以上の生徒に対するネットワーキングイベントなどに積極的に参加しています。

4. ロータリークラブ関連の活動

- 2024 年 9 月：ロンドンの大学に通うグローバル奨学生に対してオリエンテーションがありました。ロータリアンの方々やローターアクトの方々、他の奨学生との交流の機会を持ちました。

- 2024 年 10 月：イングランドの南東部の Eastbourne にて D1120 and D1130 District Conference（地区協議会）が開催され、グローバル補助金奨学生として参加しました。



- 2024 年 10 月 & 11 月：受入クラブのオンライン例会に参加し、専攻分野の紹介やこれまでの経験についてロータリアンの方々にお話する機会をいただきました。
- 2024 年 11 月：他の奨学生と Thanksgiving Party を実施しました。普段は同じ大学の友人と話すことが多い中、他大学の学生と交流することで大学のカルチャーの違いを感じる機会となり、とても興味深かったです。また、社会課題に対して共通の関心を持つ仲間と意見を交わし、有意義な時間を過ごすことができました。
- 2024 年 12 月：上記 District Conference にて知り合ったロータリアンの方（Edmonton RC）からお誘いいただき、Enfield Women's Centre が行うクリスマスのチャリティー活動に参加しました。



5. 今後に向けて

上述の通り、前期は授業を多く受講していたので日々の予習・復習・プレゼンテーションや課題に追われる日々でした。LSE では毎日のように学内外のスピーカーを交えたトークイベントが多く実施されています。後期はそうしたイベントにより積極的に参加し、自身の専門分野以外でも様々な視点に触れ、その場で出会う人々とのネットワーキングにも励んでいきたいと考えています。

6. 終わりに

国際ロータリー第 2710 地区、広島安佐 RC、現地のロータリアンの皆様をはじめ、多くの方々のご支援のおかげで、このような貴重な学びの機会をいただけていることに、改めて心より感謝申し上げます。後期も充実した学びを重ね、良いご報告ができるよう一層精進してまいります。